

森林生態学特論 (2単位)

担当者氏名 中村幸人・武生雅明

◆学習・教育目標

林学専攻では森林の保全と持続的な利用を目指して、総合的な研究能力と管理能力を養う教育目標がある。森林生態学特論では総合的な研究能力を養うために、森林の生態系が有する機能を種組成と構造(形態)・立地(生態)・更新(動態)に分けて教授する。また、日本列島の森林植生の成り立ちを種組成と構造・立地・更新特性から理解する。そのために授業には室内と野外における実習を設け、資料には英文誌も利用して語学能力を高める。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

植生学 植物地理 生態学 生態系
 森林構造 森林立地 森林更新 森林保全

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	森林の種類(1)	森林とは何か、世界にみられる森林	テーマはおよそ、授業の進行に沿って並べてあるが、担当者の分担によって、順は前後する。 中村教員は森林の種類と森林の機能 森林の構造を担当する。武生教員は森林の立地と更新を担当する。 野外実習は1泊2日を予定している。 野外調査に必要な準備をすること。
2	森林の種類(2)		
3	森林の機能(1)	森林における生態系の循環機能	
4	森林の機能(2)		
5	森林の構造(1)	森林の構成種と階層構造	
6	森林の構造(2)		
7	森林の立地(1)	森林が成立する環境要因	
8	森林の立地(2)		
9	森林における共生	森林における動植物の共生関係	
10	森林の更新と遷移	森林の更新と遷移に伴う属性の変化	
11	森林の利用	持続的な森林利用のために生態学	
12	森林の保全	森林保全の必要性とそのための手段	
13	日本の森林	日本の森林の自然林を主に理解する	
14	予備日		

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

担当教員より事前に周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

担当教員より事前に周知する。

◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

出席状況を鑑みて、レポート等により評価を行う。

◆その他受講上の注意事項

予習・復習を徹底し、授業中に十分理解するように努めること。